

(2) 政策的医療に関する評価チェックシート

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

評価項目	事業計画書の内容	評価対象事項	令和4年度の実績	自己評価	自己評価分析	市評価	評価所見																																																																																																				
①救急医療	<p>令和2年度の年間救急搬送件数は、1,348件（月平均112.2件）であり、令和3年度は、2,130件（月平均177.5件）となり、前年対比158.0%に増加いたしました。コロナによる病棟受け入れ制限等の影響もありましたが、整形外科、泌尿器科、婦人科の常勤医師の着任に伴い、手術を必要とする患者の受入体制が強化されたことにより、救急搬送件数が増加したものと考えられます。また、救急搬送患者のうち、入院加療が必要な患者は、約34%であり、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしていると考えます。</p> <p>ただし、救急搬送以外の時間外・休日受診においては、令和3年度は、1,702件（月平均141.8件）であり、令和2年度に引き続き、コロナによる受診抑制ならびに感染予防によるインフルエンザ等の受診者減が要因となっていると考えられます。令和4年度においても、あま市唯一の二次救急病院として、救急医療の提供に取り組むため、引き続きコロナに対する感染対策を講じながら、近隣の消防署等と連携を深めていきます。また、脳出血や心筋梗塞等の緊急を要する疾患等は、名古屋第一赤十字病院等の高次の医療機関へ適正に搬送するほか、診療所、施設等からの救急患者の受け入れを積極的にを行い、地域の中核病院として役割を担ってまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>救急搬送数</td> <td>2,200件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">ウォークイン 救急搬送応需率90%以上</p>	目標値		救急患者数	2,000人	救急搬送数	2,200件	<ul style="list-style-type: none"> ・救急患者数 ・救急搬送件数 	<p>令和2年度の年間救急搬送件数は、1,348件（月平均112.2件）であり、令和3年度は、2,130件（月平均177.5件）、令和4年度は2,352件（月平均196.0件）と着実に増加の実績を積み上げてきております。 コロナやクラスターによる病棟受け入れ制限等の影響もありましたが、手術を必要とする患者の受入体制強化等、断らない救急医療が着実に根付いてきていると実感しています。また、救急搬送患者のうち、入院加療が必要な患者は、約33%であり、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしていると考えます。</p> <p>ただし、救急搬送以外の時間外・休日受診においては、令和4年度は1,581件（月平均131.8件）と、コロナによる受診抑制ならびに感染予防によるインフルエンザ等の受診者減等の影響が続いているものと考えられます。令和5年度においては、コロナの五類移行等アフターコロナの状況の中でもしっかりと、あま市唯一の二次救急病院として、救急医療の提供に取り組むため、近隣の消防署等と連携を深めていきます。また、脳出血や心筋梗塞等の緊急を要する疾患等は、名古屋第一赤十字病院等の高次の医療機関へ適正に搬送するほか、診療所、施設等からの救急患者の受け入れを積極的にを行い、地域の中核病院として役割を担ってまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数</td> <td>1,581人</td> </tr> <tr> <td>救急搬送数</td> <td>2,352件</td> </tr> </tbody> </table>	実績値		救急患者数	1,581人	救急搬送数	2,352件	○	<p>救急医療においては、総合診療科を中心に幅広い疾患への対応を図りました。断らない救急医療の徹底により、救急搬送数は昨年度をさらに上回り、過去最高の2,352件となりました。一方で、ウォークインによる救急患者数は1,581人となり計画には届きませんでした。引き続き、近隣の消防署等との連携強化を図り、救急告示病院としての役割に努めて参ります。</p>	○	<p>令和4年度は救急搬送数が計画を上回る実績となりました。総合診療科を中心に、幅広い疾患への対応と断らない救急医療を実践した結果であり、海部東部地域の救急医療への貢献度は高いと評価する。引き続き、更なる救急医療の提供に取り組むことを期待する。</p>																																																																																								
目標値																																																																																																											
救急患者数	2,000人																																																																																																										
救急搬送数	2,200件																																																																																																										
実績値																																																																																																											
救急患者数	1,581人																																																																																																										
救急搬送数	2,352件																																																																																																										
②小児医療	<p>令和3年度は、令和2年度と同様に総合診療医と大学医局からの非常勤医師と連携した診療体制とし、小児救急ならびに一般小児科の外来診療の対応をいたしました。しかしながら、外来患者数の減少は前年度から引き続きしており、令和3年度1日平均患者数4.0人（令和2年度3.6人となりました。要因としては、コロナによる外出抑制、感染症対策の強化・普及等による、風邪、発熱、下痢、嘔吐などの一般的な小児科疾患の罹患率の低下等が考えられます。令和4年度も引き続き、大学医局の協力を得ながら一次救急の役割を果たし、入院治療など必要な場合は近隣の医療機関と連携してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児外来患者数</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>小児入院患者数</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	目標値		小児外来患者数	1,000人	小児入院患者数	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・患者数 	<p>令和4年度は、令和3年度と同様に総合診療医と名古屋大学病院医局からの非常勤医師と連携した診療体制とし、小児救急ならびに一般小児科の外来診療の対応をいたしました。しかしながら、外来患者数の減少は前年度から引き続きしており、令和4年度の1日平均患者数は3.0人（令和3年度4.0人）となりました。要因としては、少子化、コロナによる外出抑制、感染症対策の強化・普及等による、風邪、発熱、下痢、嘔吐などの一般的な小児科疾患の罹患率の低下等が考えられます。令和5年度も引き続き、大学医局の協力を得ながら一次救急の役割を果たし、入院治療など必要な場合は近隣の医療機関と連携してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児外来患者数</td> <td>717人</td> </tr> <tr> <td>小児入院患者数</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	実績値		小児外来患者数	717人	小児入院患者数	0人	△	<p>総合診療医の中には小児科の専門医を取得している医師もおり、午前は非常勤の小児科専門医により、午後は常勤の小児科専門医により診療を行う体制が取られています。昨年度よりも患者数は減少しており、発熱外来等受け入れ窓口の縮小も要因の一つと考えられます。引き続き、小児医療の充実を図ります。</p>	△	<p>令和4年度の外来患者数実績は計画を下回っており、コロナによる外出抑制、感染症対策の強化があり外来患者数が増えない現状であるが、政策的医療のひとつに位置づけた小児医療の更なる充実を期待する。</p>																																																																																								
目標値																																																																																																											
小児外来患者数	1,000人																																																																																																										
小児入院患者数	0人																																																																																																										
実績値																																																																																																											
小児外来患者数	717人																																																																																																										
小児入院患者数	0人																																																																																																										
③リハビリテーション医療	<p>令和2年度に開棟した回復期リハビリテーション病棟は、令和3年度は1日平均患者数38.5人と、令和2年度27.7人から大幅に増加しました。令和2年度には課題であったリハビリスペースに関しても、あま市事業により、リハビリテーション室協の相談室を改修し、リハビリスペースとして使用できるようにしていただきました。そのため、1患者あたりの提供単位数は、令和3年1～3月の平均約4単位から回復し、令和3年度は平均5.0単位と回復しました。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外来リハビリテーションについては中止せざるを得ない状況にあり、令和4年度も見通しが立たない状況です。今後もコロナの感染状況を注視して再開時期を模索してまいります。より安全に、より利用者が快適に療養生活を過ごせるよう引き続き環境整備についてあま市のご支援をいただければと考えております。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般病棟</th> <th>地域包括ケア病棟</th> <th>回復期リハ病棟</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td>12,000単位</td> <td>12,000単位</td> <td>45,000単位</td> <td>69,000単位</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td>6,000単位</td> <td>4,500単位</td> <td>30,000単位</td> <td>40,500単位</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td>2,100単位</td> <td>3,500単位</td> <td>—</td> <td>5,600単位</td> </tr> <tr> <td>呼吸器リハビリ</td> <td>8,000単位</td> <td>10,000単位</td> <td>—</td> <td>18,000単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28,100単位</td> <td>30,000単位</td> <td>75,000単位</td> <td>133,100単位</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>摂食機能療法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,000回</td> </tr> </tbody> </table>		一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計	運動器リハビリ	12,000単位	12,000単位	45,000単位	69,000単位	脳血管疾患リハビリ	6,000単位	4,500単位	30,000単位	40,500単位	廃用症候群リハビリ	2,100単位	3,500単位	—	5,600単位	呼吸器リハビリ	8,000単位	10,000単位	—	18,000単位	計	28,100単位	30,000単位	75,000単位	133,100単位	運動器リハビリ				—	脳血管疾患リハビリ				—	廃用症候群リハビリ				—	摂食機能療法				6,000回	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション実施件数 	<p>令和2年度に開棟した回復期リハビリテーション病棟は、令和4年度は1日平均患者数36.8人と、令和3年度38.5人から減少しましたが、1患者あたりの提供単位数は、令和3年度の平均5.0単位から、令和4年度は平均5.8単位と上昇しました。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外来リハビリテーションについては中止せざるを得ない状況にありました。令和5年度はコロナ五類移行後、状況を見極めながら再開時期を模索してまいります。より安全に、より利用者が快適に療養生活を過ごせるよう引き続き環境整備についてあま市のご支援をいただければと考えております。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般病棟</th> <th>地域包括ケア病棟</th> <th>回復期リハ病棟</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td>13,056単位</td> <td>9,136単位</td> <td>47,174単位</td> <td>69,366単位</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td>4,171単位</td> <td>4,521単位</td> <td>30,010単位</td> <td>38,702単位</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td>3,957単位</td> <td>4,781単位</td> <td>608単位</td> <td>9,346単位</td> </tr> <tr> <td>呼吸器リハビリ</td> <td>9,323単位</td> <td>11,590単位</td> <td>—</td> <td>20,913単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30,507単位</td> <td>30,028単位</td> <td>77,792単位</td> <td>138,327単位</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>摂食機能療法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,838回</td> </tr> </tbody> </table>		一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計	運動器リハビリ	13,056単位	9,136単位	47,174単位	69,366単位	脳血管疾患リハビリ	4,171単位	4,521単位	30,010単位	38,702単位	廃用症候群リハビリ	3,957単位	4,781単位	608単位	9,346単位	呼吸器リハビリ	9,323単位	11,590単位	—	20,913単位	計	30,507単位	30,028単位	77,792単位	138,327単位	運動器リハビリ				—	脳血管疾患リハビリ				—	廃用症候群リハビリ				—	摂食機能療法				4,838回	△	<p>回復期リハビリテーション病棟の稼働率は前年度より減少し、81.7%となりましたが、提供総単位数は前年度の127,230単位から138,327単位に増加し、1患者あたりの提供単位数も前年度の5.0単位から5.8単位と増加しました。しかし、目標の6単位には達していません。また、今年度実施できなかった外来リハビリテーションの再開も含め、リハビリテーション医療の充実に向けてまいります。</p>	○	<p>令和4年度もコロナの影響で外来リハビリが中止となったが、入院のリハビリ提供単位数は全ての病棟で計画を上回ったことは評価する。</p> <p>回復期リハビリテーション病棟の稼働率が81.7%と地域の回復期医療では一定の役割を果たしており、更なる今後を期待する。</p>
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計																																																																																																							
運動器リハビリ	12,000単位	12,000単位	45,000単位	69,000単位																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ	6,000単位	4,500単位	30,000単位	40,500単位																																																																																																							
廃用症候群リハビリ	2,100単位	3,500単位	—	5,600単位																																																																																																							
呼吸器リハビリ	8,000単位	10,000単位	—	18,000単位																																																																																																							
計	28,100単位	30,000単位	75,000単位	133,100単位																																																																																																							
運動器リハビリ				—																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ				—																																																																																																							
廃用症候群リハビリ				—																																																																																																							
摂食機能療法				6,000回																																																																																																							
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計																																																																																																							
運動器リハビリ	13,056単位	9,136単位	47,174単位	69,366単位																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ	4,171単位	4,521単位	30,010単位	38,702単位																																																																																																							
廃用症候群リハビリ	3,957単位	4,781単位	608単位	9,346単位																																																																																																							
呼吸器リハビリ	9,323単位	11,590単位	—	20,913単位																																																																																																							
計	30,507単位	30,028単位	77,792単位	138,327単位																																																																																																							
運動器リハビリ				—																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ				—																																																																																																							
廃用症候群リハビリ				—																																																																																																							
摂食機能療法				4,838回																																																																																																							

(2) 政策的医療に関する評価チェックシート

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

評価項目	事業計画書の内容	評価対象事項	令和4年度の実績	自己評価	自己評価分析	市評価	評価所見																														
④保健衛生事業	<p>令和3年度も、コロナの影響により事業所健診等をはじめとした健診事業においても一部制限せざるを得ない状況となりましたが、従来の1階健診センターではなく、2階外来スペースを使用するなど、可能な限り対応いたしました。</p> <p>コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、引き続き、子宮がん検診、乳がん検診、事業所検診等をはじめとし、個人健診や予防接種など幅広い保健衛生事業を実施いたします。また、ヘルスプロモーション事業として、糖尿病の健康教室などの公開健康講座等を開催し、市民の健康づくりに寄与します。なお、令和3年度は、コロナのため、公開講座等を実施することが難しいなか、オンラインシステム（ZOOM）等を活用し、感染管理等の普及に努めました。令和4年度もオンラインシステム等も活用しながら保健衛生に関わるイベント等を開催し、地域住民だけでなく、地域の施設、事業所の施設関係者等々への啓蒙活動や市と共同した保健衛生活動を実施するなど、さらなる健康増進・維持、健康な地域づくりに取り組みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん・乳がん検診</td> <td>700人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業健診等</td> <td>2,000人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>500人</td> <td>肺炎球菌、インフルエンザ等</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスワクチン接種</td> <td></td> <td>ワクチン接種状況が不透明な為設定無し</td> </tr> </tbody> </table>		目標値	備考	子宮がん・乳がん検診	700人		企業健診等	2,000人		予防接種	500人	肺炎球菌、インフルエンザ等	新型コロナウイルスワクチン接種		ワクチン接種状況が不透明な為設定無し	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん、乳がん検診の実施件数 ・企業健診等の実施件数 ・予防接種の実施状況 	<p>令和4年度も、コロナの影響により事業所健診等をはじめとした健診事業においても一部制限せざるを得ない状況となりましたが、従来の1階健診センターではなく、2階外来スペースを使用するなど、可能な限り対応いたしました。</p> <p>令和5年度はコロナ五類移行後の状況を見極めつつ、健診センターの立ち上げによる、保健衛生事業の拡充を予定しています。また引き続き、子宮がん検診、乳がん検診、事業所検診、及び個人健診や予防接種など幅広い保健衛生事業を実施いたします。また、ヘルスプロモーション事業として、糖尿病の健康教室などの公開健康講座等を開催し、市民の健康づくりに寄与します。なお、令和4年度は、コロナのため、公開講座等を実施することが難しいなかでも、世界糖尿病デーの健康収穫祭や「元気な肺で息生き、長生き」等、4回院外での健康増進を目的としたイベントを行うなど、対面形式やオンラインシステムも活用して、地域住民や周囲に向けた活動にも積極的に取り組みました。令和5年度は対面での開催方法等も模索しながら保健衛生に関わるイベント等を開催し、地域住民だけでなく、地域の施設、事業所の施設関係者等々への啓蒙活動や市と共同した保健衛生活動を実施するなど、さらなる健康増進・維持、健康な地域づくりに取り組みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん・乳がん検診</td> <td>282人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業健診等</td> <td>1,253人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>1,227人</td> <td>肺炎球菌、インフルエンザ等</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスワクチン接種</td> <td>5,678人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実績値	備考	子宮がん・乳がん検診	282人		企業健診等	1,253人		予防接種	1,227人	肺炎球菌、インフルエンザ等	新型コロナウイルスワクチン接種	5,678人		○	<p>コロナ禍の影響により、健診業務については、一部制限するなど、規模を縮小した形での実施が続いておりますが、ワクチン接種の実施等、コロナ禍において貢献できる部分での活動に力を注ぎました。</p> <p>また、コロナ禍においてもフレイル予防活動教室への理学療法士派遣や、院外での健康増進イベント、オンラインを活用した感染管理講座や糖尿病予防に関する講座の実施等、啓発活動についても積極的に行いました。</p>	○	<p>コロナ禍で健診業務は縮小を余儀なくされたが、企業健診等や予防接種の実施件数は計画を上回った。</p> <p>対面やオンライン形式での健康推進イベント実施等の保健衛生事業の啓発活動をできる限り行ったことは評価する。次年度以降も積極的な啓発活動に期待する。</p>
	目標値	備考																																			
子宮がん・乳がん検診	700人																																				
企業健診等	2,000人																																				
予防接種	500人	肺炎球菌、インフルエンザ等																																			
新型コロナウイルスワクチン接種		ワクチン接種状況が不透明な為設定無し																																			
	実績値	備考																																			
子宮がん・乳がん検診	282人																																				
企業健診等	1,253人																																				
予防接種	1,227人	肺炎球菌、インフルエンザ等																																			
新型コロナウイルスワクチン接種	5,678人																																				
⑤災害時医療	<p>あま市地域防災計画に基づき、地域の消防署、行政機関等の関連機関との連携を強化し、新型コロナウイルスでここ数年中止されていた地域の総合防災訓練に参加して参ります。また防災避難訓練については、質の向上に向けより実践的な行動が出来るようアクションカードの整備を進めて参ります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>頻度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災避難訓練</td> <td>2回/年</td> <td>院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。</td> </tr> <tr> <td>トリアージ訓練</td> <td>適宜</td> <td>傷病者の受入れを速やかに行う訓練</td> </tr> <tr> <td>海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練</td> <td>適宜</td> <td>訓練参加</td> </tr> </tbody> </table>		頻度	内容	防災避難訓練	2回/年	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。	トリアージ訓練	適宜	傷病者の受入れを速やかに行う訓練	海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	適宜	訓練参加	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の実施状況 ・訓練の実施状況 	<p>あま市地域防災計画に基づき、令和2年9月に「あま市民病院 災害対応に関する基本方針・災害対策マニュアル」、令和3年2月に「あま市民病院 災害時事業計画書（BCP）」、令和3年8月に「あま市民病院 水害（洪水・内水）非難確保計画」を策定し、また、地域の消防署、行政機関等の関連機関との連携を強化し、コロナでここ数年中止されていた地域の総合防災訓練に参加して参ります。また防災避難訓練については、質の向上に向けより実践的な行動が出来るようトリアージ訓練を計画しています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災避難訓練</td> <td>9月12月</td> <td>院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。</td> </tr> <tr> <td>トリアージ訓練</td> <td>—</td> <td>コロナのため中止</td> </tr> <tr> <td>海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練</td> <td>6月—</td> <td>海部地方総合防災訓練への参加 あま市総合防災訓練はコロナ対策の為中止</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	内容	防災避難訓練	9月12月	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。	トリアージ訓練	—	コロナのため中止	海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	6月—	海部地方総合防災訓練への参加 あま市総合防災訓練はコロナ対策の為中止	○	<p>法令で定められている訓練を実施し、災害時等に対応できる対策を図りました。9月の防災避難訓練においては炊き出し訓練も行いました。</p> <p>また、コロナの影響により開催が見送りになっていた地域の防災訓練についても、海部地方総合防災訓練は開催され、当院からも参加しました。</p> <p>さらに、必要な防災備品等の整備も行いました。</p>	○	<p>災害時医療として計画した院内の防災避難訓練では、しっかりと災害時を想定して行なうことができた。</p> <p>水害に対する避難確保計画の策定など、いざという時の有事への備えを行っており評価する。</p>						
	頻度	内容																																			
防災避難訓練	2回/年	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。																																			
トリアージ訓練	適宜	傷病者の受入れを速やかに行う訓練																																			
海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	適宜	訓練参加																																			
	実施日	内容																																			
防災避難訓練	9月12月	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。																																			
トリアージ訓練	—	コロナのため中止																																			
海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	6月—	海部地方総合防災訓練への参加 あま市総合防災訓練はコロナ対策の為中止																																			